

TX750 オイルフィルターセット

◆はじめに

この度はTX750用オイルフィルターセットをお買い上げ頂きまして有難う御座います。

- ・本商品は、欠品となっているTX750のオイルフィルターのフィルターとカバーがセットになった代替品です。
- ・TX750 I 型、II 型のノーマルのオイルフィルターを取り外し、ボルトオンで取り付けすることができます。
- ・オイルフィルターは現代の大濾過面積、細密濾紙を用いておりエンジンコンディションを良い状態で維持します。

【注意】・【危険】

取り付け作業時、取付け後走行時、危険を伴う場合がありますので、必ず下記説明書きをお読みになり、よく理解され記載事項の遵守を御願い致します。

1. 取付け作業時は、オートバイを安定に確実に固定し安全を確認してから作業を開始して下さい。
2. 部品を確実に取り付けるため、資格のあるオートバイ店で取付けをして下さい。
3. 使用時は定期的に点検し、ネジの緩み、部品の破損が無いか確認して下さい。
4. 使用時異常を発見した場合は直ぐに使用を中止して下さい。
5. 本製品の取り付け、使用に伴う不具合の発生は購入・使用者の自己責任とし、ノークレームとします。

1. 注意事項

●作業について

①作業中不明な点や、おかしいと気づく点が出てきた場合は、一旦作業を中断し、確実に確認をしてから作業を継続してください。

●オイルフィルターについて

①エンジンオイルはフィルターの外から中へと流れます。オイルフィルターの外側はエンジンからのオイルの流入側ですので、多少異物があっても問題ありませんが、内側は、濾過されたエンジンオイルのエンジンへの戻り側ですので、中に絶対に異物の入らない様にしておいてください。

●エンジンオイルについて

①10W-50、20W-40などの高温高粘度のオイルを使用してください。10W-30などのオイルは使わないでください。また構造上、ブローバイによりオイル消費が多い傾向があり、特に連続高速走行ではオイル消費が著しくなりますのでご注意ください。

2. 取り付けの手順

・取り付けの概要を示します。内容を理解されてから作業を進められますと、円滑に取り付けが進み、不具合の発生を防ぐ事ができます。

チェック

- ①部品の確認
- ②作業日付、走行距離記録、エンジン2～3分暖気、オイル抜き。
- ③ノーマル部品の取り外し、洗浄、取付け部の寸法確認。
- ④取付けボルト長さ、特製フィルターの押さえ代の確認。
- ⑤フィルター、カバーの取付け。
- ⑥オイル給油、エンジン1分始動、オイル漏れの確認、オイルレベル確認、給油。
- ⑦エンジン始動、3～4000rpmでオイル漏れの確認。
- ⑧チェーン張り、カバー未取付けでペダル類取り付け、1～2km試走、5000rpm程度まで回す。
- ⑨オイル漏れの確認、カバーの取付け。
- ⑩10～20km程走行、途中エンジン下部よりオイル漏れの確認、走行後カバーをはずし、フィルターカバー回りの緩み、オイル漏れ確認。

2. 取付け方法



1. 部品を確認し、道具を用意する。
フィルターカバー 1個
M8×95 六角穴付きサラボルト 1個(I型後期の場合は2mm短くする)
Oリング大(3. 53-53. 57) 1個
M6厚ワッシャ 1個(スプロケカバースペーサ)
オイルフィルター 1個
道具類も用意します。6mm用六角レンチ、トルクレンチ、ウエス他
高温高粘度オイルも用意する。



2. 事前作業
 - ①作業日付、走行距離を記録する。
 - ②メインスタンドをかける。
 - ③オイルを綺麗に落とすため、エンジンを2~3分暖気する。オイルが加熱するので長く暖気しない。また走行直後は作業しない。
 - ④ギアをニュートラルにしエンジンを停止する。
 - ⑤エンジン下部ドレン、オイルタンクドレンからオイルを抜く。タンクは洗浄しておくが良い。



3. 旧部品の取り外し
 - ①ステップ、シフトレバーの位置を確認し取り外す。
 - ②左後ドライブスプロケットカバーを取り外す。M6ソケット3本。



3. チェーンを緩める
 - ①チェーンを緩めておく。



5. チェーンガイド取り外し
 - ①M6ソケットを緩めチェーンガイドを取り外す。



6. オイルフィルターの取り外し
 - ①フィルター、アダプターの中のオイルがこぼれますので、フィルター下、エンジン下にウエスをひいておきます。



- ②フィルターのみを取り外します。ここは省略し、フィルターアダプターだけを取り外してもかまいません。+ネジ3本は舐めやすいので、+ビットのTレンチで押さえつけて緩めます。



7. フィルターアダプターの取り外し

①フィルターアダプターを固定しているM8ボルトを取り外します。



②フィルターアダプターを傾けながら取り外す。



③中にオイルとともに異物が溜まっていますので、ウエスで綺麗に拭き取り、パーツクリーナーで清掃する事をお勧めします。



8. 取り付け部寸法の確認

①奥にある座面と、手前側のカバーの取付け座面間の寸法を計る。

段差基準寸法： $47 \pm 0.5\text{mm}$



9. ボルト長さの確認

①フィルターを入れず、リングを取りつけずにカバーだけをセットし、ボルトを軽く指でねじ込み、底付き無くボルトが絞まる事を確認する。

②確認が終わったら、ボルトカバーは取り外しておく。



10. フィルターの取り付け

①フィルターのΦ19の大きなゴムブッシュにオイルを薄く塗り、エンジン側の穴に嵌めこむ。ブッシュの外径が大きいのであまりにきついので、押し付けながらねじ込むように嵌めこむ。きちんとはまると、フィルターが水平に自立する。画像は内部にリブの無いⅡ型のエンジン。



②これはⅠ型前期型のエンジン側内部。Ⅱ型と違って、内部に3箇所のリブがあり、フィルターをガイドするようになっている。このため、フィルターは少々取り付けにくいですが、フィルターのブッシュは確実にはめ込むこと。



③フィルターが取り付けると、この様に周辺と均等に隙間を保持して水平に自立するようになる。(左図参照)



11. フィルターカバーの取り付け

①フィルターリングの締め代の確認をする。カバーにリングを入れずにカバーをセットする。
フィルターに取り付いているリング(2. 6-7. 59)が外れている場合は、フィルター側に液体ガスケットで取り付ける。



②カバーが周辺より1mmほど浮き、隙間が出来て、オイルフィルターの中心のリングに締め代があることを確認する。
→この締め代で確実にフィルターを固定し、オイル漏れを防ぐ。



③カバーにリングを入れ、セットする。リングがずれる場合は、リングにグリースを薄く塗布してからカバー溝に入れると脱落せずセットしやすい。
このリングはノーマルのものも使用することができますが、へたって締め代が少なくなったものはオイルが漏れるので新品と交換してください。



④M8サラボルトを取り付ける。トルクレンチを用い、2. 0kg・mで締め付ける。
エンジン側はアルミダイキャストで強度が低く、舐めやすいので、強く締めない。
(1. 0kg・mで締め、3000km走行した状態で問題はなかった。)



12. 確認作業

①点検時、緩みが分かるように、マジックで2箇所マーキングを入れておく。
定期点検時、緩みが無い事を、マーキングのズレで確認する事。
②チェーンガイドを取り付けておく。



13. エンジン始動

①フィルターが取り付けいたら、再度作業忘れがないか確認し、OKだったらエンジンオイルを2. 0L入れ、プラグを抜いて、50回ほどクランキングしてオイルをまわしてやる。
②プラグを取付け、エンジンを始動、1分ほどで一旦停止し、オイルの漏れがないかよく確認する。
オイルワーニングランプが点いていない事を確認する。点灯している場合はすぐさまエンジンを停止し、原因を調べ対処する。



- ③オイルをさらに0.8L追加しレベルゲージのFにまでオイルが来ている事を確認する。純正オイルフィルターが無くなった分、0.2Lオイルが減り、オイルは合計2.8L入る。
- ④再度エンジンをかけ、3~400rpmにまでレーシングしながら4~5分ほどエンジンをかける。
- ⑤再度エンジンオイルレベルと、フィルター回りのオイル漏れが無い事を確認する。



14. 試験走行

- ①次にテスト走行に入るので、チェーン調整をしておく。



- ②ドライブカバーを付けない状態で、ステップ、ペダルを取付け、走行できる状態にする。
- ③この状態で、1~2km走行し、5~6000rpmまで回し、停車後、再度オイル漏れの有無を確認する。
カバーが付いていないので、チェーンへの身体、衣類の巻き込まれに注意する。



15. 仕上げ作業

- ①オイルカバーのブラケットが共締めされていた場所に液体ガスケットを塗り、厚ワッシャを取り付けておく。



- ②カバー、ペダル類を取り付ける。
- ③10~20kmほど走行し、途中、エンジン下部からオイル漏れが無い事を確認する。



- ④戻った後、オイルレベルが変わっておらずオイル漏れが無い事を確認する。
エンジン下部よりオイル漏れが無い事を目視で確認する。
- ⑤100km程度走行後、ドライブsprocketカバーを取り外し、オイル漏れ、カバー、ボルトの緩みが無い事を確認する。
- ⑥1000~3000kmで適宜フィルターを交換する。
- ⑦フィルターカバーのOリングはへたるので、フィルター交換2~3度毎に交換が望ましい。